

令和7年度 第2回佐久市社会教育委員会 会議録

日時 令和7年6月18日（水）午前10時～午前11時30分

会場 佐久市役所南棟3階大会議室

1 開 会 依田副委員長

2 あいさつ 原委員長

3 会議事項

（１）「居場所」活動のまとめについて

委員長：事務局より説明をお願いします。

事務局：

配布資料「佐久市社会教育委員会活動テーマ『居場所について考える』の活動報告について」をご覧ください。この資料は、来週6月25日（水）に予定されている教育委員との意見交換会で使用することを想定してまとめてあります。特に「（２）活動から見えてきた課題等」が、当日の意見交換の中心となります。解決策（対策の提案）の議論だけでなく、委員の皆様が活動を通じて肌で感じた「課題」の部分が教育委員にしっかりと伝わるよう、認識に齟齬がないか確認をお願いします。この後、コミュニティ・スクール（CS）グループと子育て支援グループに分かれて内容の確認と協議を行っていただきます。

〈グループワークおよび全体協議〉

委員（CSグループ）：資料にある「モデル校」という表現について議論した。特定の学校をモデルとして提示すると、その学校への負担や、「そこだけで良い」という認識になりかねない。各地の「好事例」や「ベストプラクティス」を共有するという表現の方が実情に合っているのではないか。

委員（CSグループ）：コーディネーターの地位や任命形態が曖昧で、「名前だけ」になっているケースや、学校側（教頭等）との連携が取れていない現状がある。

委員（CSグループ）：コーディネーター同士の横のつながりや、行政との課題共有ができていない。教育委員会に対し、単に活動報告をするだけでなく、現場の悩みや実情をしっかりと伝え、関係者会議の継続開催などを提案していくべきだ。

委員（子育てグループ）：マップの作成について、既存の相談窓口マップ等は情報が古かったり（10年前のものなど）、情報量が多すぎて利用者が迷う現状がある。

委員（子育てグループ）：店舗や地域の居場所に置いてもらいやすいよう、「カードサイズ」や「QRコード付き」のシンプルなものが良いのではないかと議論になった。

委員（子育てグループ）：相談者がたらい回しにされることで疲弊しており、窓口の一元化（ワンストップフォーム化）が必要である。

事務局：頂いたご意見（「モデル校」の表現修正や、カード化の具体案など）を踏まえ、資料を修正した上で、6月25日の意見交換会に提出します。「課題」を中心に議論が展開できるよう準備します。

（２）次任期の活動について

委員長：事務局より説明をお願いします。

事務局：現委員の任期は令和7年6月末で満了となります。7月からは新しい委員体制となりますが、継続して取り組むべきテーマや、次期委員会への申し送り事項（メッセージ）について、少し時間を取って協議をお願いします。

〈協議・意見〉

委員：CSについては、コーディネーター会議の開催など、行政と連携して継続すべき課題が多い。次期委員会でも引き続き、情報共有の場の設置や地位向上に向けた働きかけを行ってほしい。

委員：子育て支援については、今回提案に挙げた「カード型マップ」の作成を、次期委員会で具体化・実現してほしい。

委員：不登校支援について、学校外の居場所での活動が出席扱いになるかどうかの基準統一など、引き続き検討が必要な課題がある。

事務局：皆様から頂いた「次期への申し送り」や「継続課題」については、事務局で記録し、次期委員会へインプットさせていただきます。

（３）その他

事務局：次回、教育委員との意見交換会は、令和7年6月25日（水）午前10時より、同会場（佐久市役所南棟3階大会議室）にて開催します。活動報告書の修正版は当日配布します。欠席の場合は事前にご連絡ください。

4 閉 会

委員長：2年間の任期、熱心にご議論いただきありがとうございました。引き続き様々な立場から社会教育を見守っていただければ幸いです。

副委員長：以上を持ちまして、令和7年度第2回佐久市社会教育委員会議を閉会いたします。